

西国巡礼慈悲の道

西国第七番 東光山

岡寺

もつとも短いお経

山主 川俣海淳

法事等で家にお坊さんに

句観音経』。

来てもらいお経をあげてい

観世音 南無佛 與佛有

ただいた時、足をモジモジ

因 與佛有縁 佛法僧縁

させながら『このお経いつ

常樂我浄 朝念観世音

終るんだろう…』と思つた

暮念観世音 念念従心起

事がある方はたくさんいら

念念不離心

つしやるかと思ひます。実

意識ですが、解釈として

際、三十分以上読経し続け

は『私どもは、仏さまの因

るお経も珍しくはなく、『お

と縁をいただいております。

経は長い』というイメージ

観音さまのことを朝な夕な

を持たれていると思ひます。

念じ続けます。どうか、そ

しかし、中には全部唱えて

のお徳をお授け下さい』と

も一分とかからないお経も

なります。

あります。それは『延命十

わずか四十二文字です。

短いと言われている『般若

心経』でさえ二百七十六文

字ですから本当に短いお経

である事がおわかりいただ

けると思ひます。こんなエ

ピソードがあります。一九

六六年、坊秀男厚生大臣は、

国会において自身の弾劾演

説を受けている最中、手帳

に懸命に十句観音経を写経

して精神を落ち着かせ、そ

のおかげで立腹もせず、心

の平静を失わず、また相手

も傷つけずに済んだと語つ

たそうです。(松原泰道著 観

音菩薩)

西国巡礼をしているとつ

いつい、次のお寺、次のお

寺と心が先に行きがちにな

ります。時には納経が済ん

だら、肝心の観音さまに手

すら合わせずに次のお寺に

向かう方をお見かけする事

がございます。それぞれ事

情もあるとは思ひますが、

急いでいる時こそせめてこ

の延命十句観音経をお唱え

して手を合わせ、心を落ち

着かせてから巡礼していた

だければと思ひます。そし

てこれは何も巡礼の時だけ

に限った事ではないと思ひ

ます。普段の生活の中で、

思い通りに行かない事、納

得出来ない事、理不尽に感

じる事など様々な困難が待

ち受けていると思ひます。

そんな時に感情に任せて心

荒立てる前に心の中でお唱

えし、心を平静に保ち自ら

をお守りいただければと思

ひます。

西国第七番

東光山

岡寺おかでら

真言宗豊山派

御本尊／如意輪観世音菩薩 開基／義淵僧正

けさみれば

つゆおかでら 露岡寺の 庭にあのこけ

さながら瑠璃るりの

ひかり 光なりけり



観音風光

履物は、脱ぎつばなしにしないで、つま先を外に向け揃えて脱ぐ習慣を。
はきものをそろえる
はきものをそろえると心もそろう
心がそろうとはきものもそろう
ぬぐときにそろえて おくと
はくときに心がみだれない
だれかがみだして おいたら
だまってそろえて おいてあげよう
そうすればきっと 世界中の
人の心もそろうでしょう

(詩の作者名失念)

主な年中行事

- 一月一日 初詣・開帳法要
- 一月十八日 初観音
- 二月初午の日 初午厄除護摩供大般若法要
- 三月初午の日 初午大祭厄除護摩供大般若法要
- 四月中旬～五月初旬 シヤクナゲ祭
- 十月第三日曜日 開山忌野点茶会
- 十二月十八日 納観音
- 十二月三十一日 除夜の鐘・閉帳法要

〒634-0111 奈良県高市郡明日香村岡806
TEL 0744-54-2007 <http://www4.kcn.ne.jp/~balance>
納経時間 3月～11月／午前8時～午後5時
12月～2月／午前8時～午後4時30分

仏教用語一口解説

娑婆とは

仏の浄土である彼岸に対して、私たちが日々悩み暮らしている、煩惱や苦悩に満ちている俗世間のことを娑婆といひます。ひがんサンスクリット語のサハーが語源で忍耐を意味します。自分の心の内に在る欲望と他人のわがままとに耐えねばならない俗世ですから、「忍土」ともいひます。因みに刑務所の中から見た外の世界を娑婆と呼ぶそうですが、こんなに苦しい俗世間でも束縛された世界から見たら素晴らしいのですね。私たちは謙虚な心を大切に生きて行くことが必要です。